

ムラサキセンブリ

Swertia pseudochinensis H.Hara
リンドウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は10箇所以下で、個体数も少ない。最近10年間の確認記録がない。

分 布

本州（関東地方以西）～九州に分布する。県内では嶺南地方で確認されている。

種の特徴

日当たりのよい草原や岩場に生える多年生草本。草丈50～70cm。茎は紫色を帯び、上部で分枝する。葉は対生し、葉身は線形～線状披針形。長さ2～4cm。花は淡紫色で紫色の筋がある。花の直径2～3cm。普通のセンブリより草丈が大きく、花もやや大きい。

生育を脅かす要因

道路工事や埋め立て等の開発、自然遷移や園芸採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○														

ハウライカズラ

Gardneria nutans Siebold et Zucc.
マチン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

本州（千葉県以西）～九州に分布。県内では嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

林内に生える常緑藤本。茎は緑色で無毛。葉は対生し、葉身は長さ6～11cm、幅2～5cm、両面とも無毛。葉柄は長さ7～15mmで無毛。6～7月頃、上部の葉腋から長さ1～2cmの花序を伸ばして1～2個の花を付ける。花冠は淡黄白色、深く5裂し、裂片は反り返る。

生育を脅かす要因

産地局限

参考文献 佐竹義輔ほか（1989b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○		○												

チョウジソウ

Amsonia elliptica (Thunb.) Roem. et Schult.
キョウチクトウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

生育地は限られ、かつ個体数が減少しており、種の存続が懸念される。

分 布

本州、九州に分布する。県内では越前町、あわら市、池田町、福井市で確認されている。

種の特徴

川岸や原野のやや湿った草地に生える多年生草本。茎は直立し、高さ40～80cm。葉は長さ6～10cm、幅1～2cmの細長い披針形で、互生する。花期5～6月。茎頂に集散花序を出し薄青色の花を多数咲かせる。萼は深く5裂、花冠は15mmほどで平らに開く。

生育を脅かす要因

道路工事や埋め立て等により生育地が減少。自然遷移が進み生育環境が変化している。また、長い間園芸採取の対象になってきた。保全を図らないと種の存続が危惧される。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○		○				○				○